



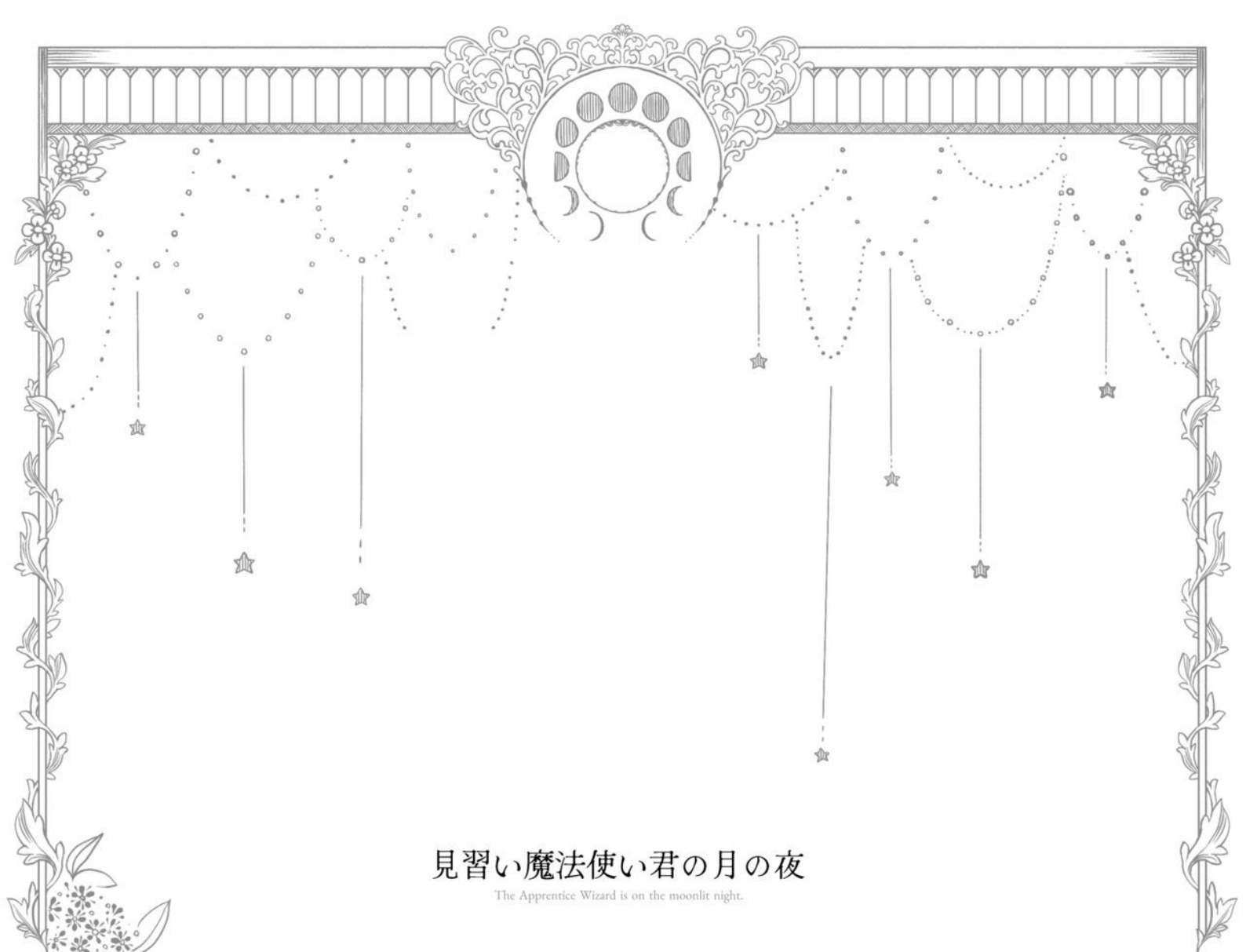
見習い魔法使い君

The Apprentice Wizard の is on the moonlit night.

月の夜

R18  
Adult only





## 見習い魔法使い君の月の夜

The Apprentice Wizard is on the moonlit night.



※本作品はR18です。  
18歳未満の方の閲覧はお断りいたします。

## はじめに

本作の作中に出てくる“魔法”は  
独自の解釈・定義づけをしています。

実際の“魔法の定義”とは異なる部分がありますので、  
諸々違和感があっても大目に見ていただくと幸いです。

## 登場人物と前回までの概要

### エドワード

見習いの魔法使い。魔力バカだということが最近判明。  
女性の扱いには極めて不慣れ。

### ブルーベル

人間の女の子。  
幼少期に魔物に呪われ、肉体を失っていた。  
エドワードに保護されたのち、約10年かけて人間の姿を取り戻した。

### 師匠

エドワードにとっての魔法の師匠に当たる人物。  
エドワードの工房を訪れる際は、使い魔として動物の姿を借りている。



新月の夜

僕は彼女を抱く

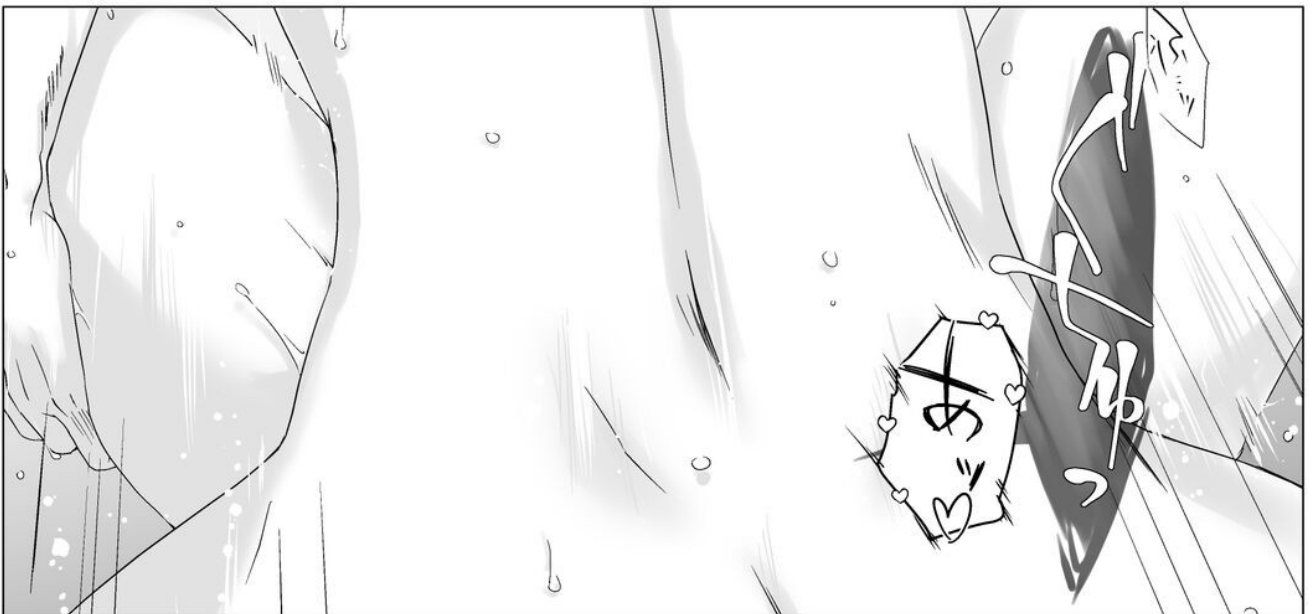




長い間  
肉体を失っていた  
人間の女の子

彼女の身体を  
維持するため

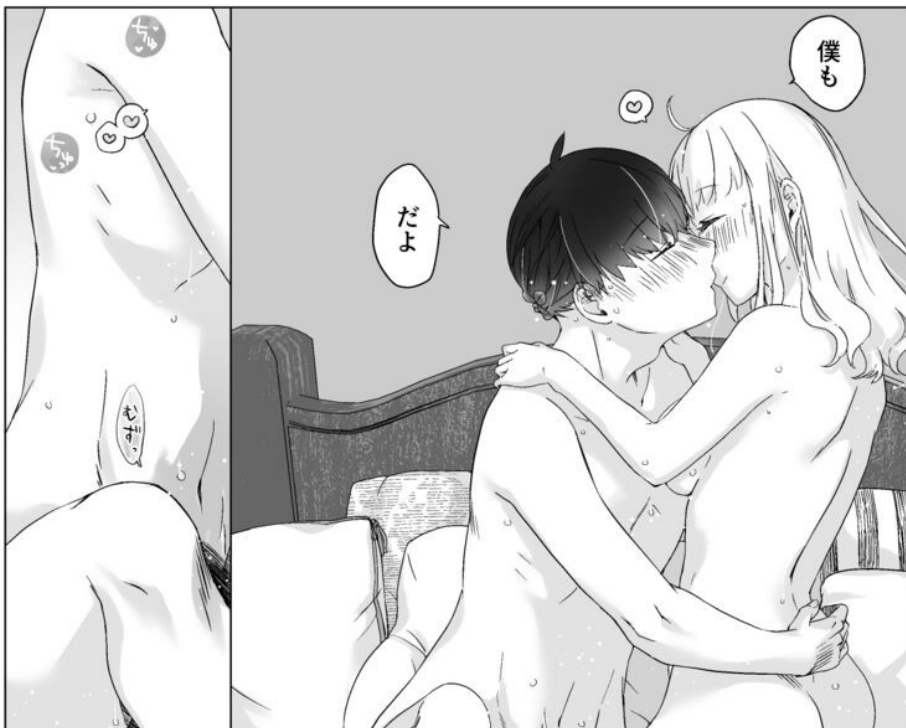
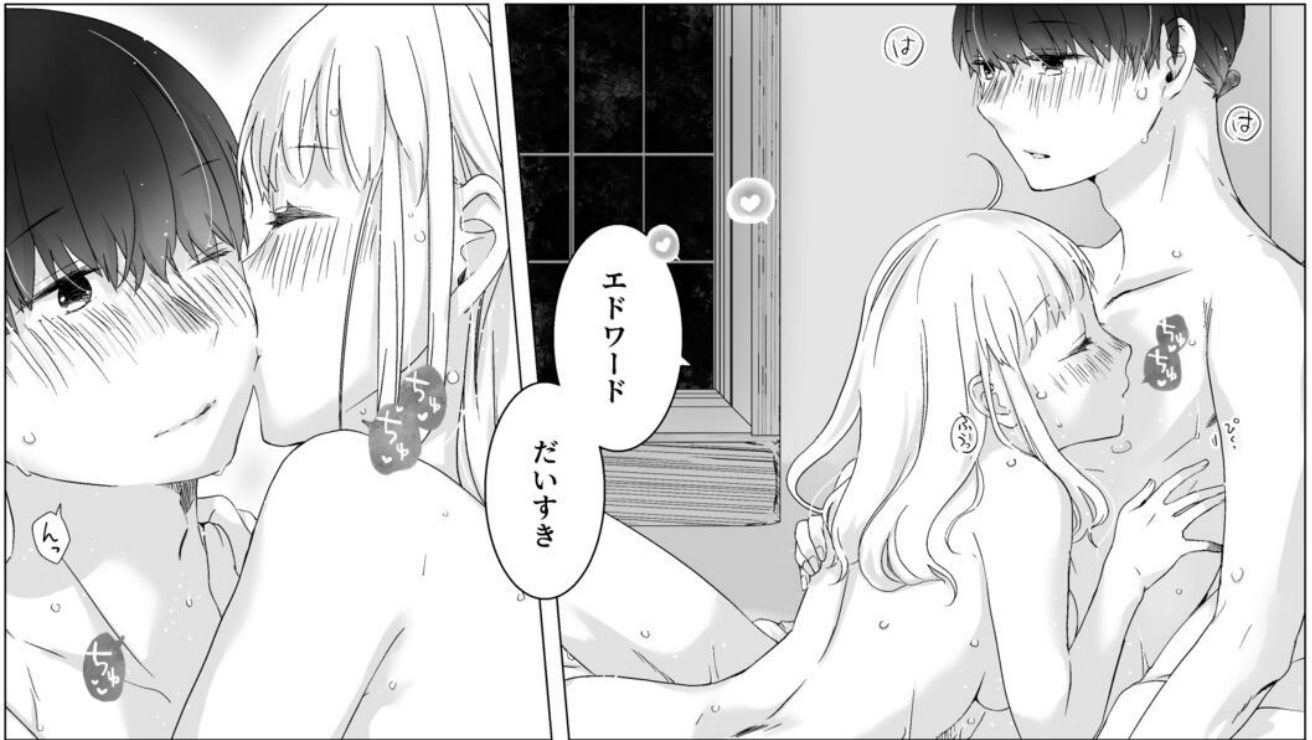
僕の魔力を  
性交して  
分け与える











自分のことを  
こんな風に  
愛してくれる  
女の子がいるなんて

こんな  
こんな幸せな  
時間があるなんて

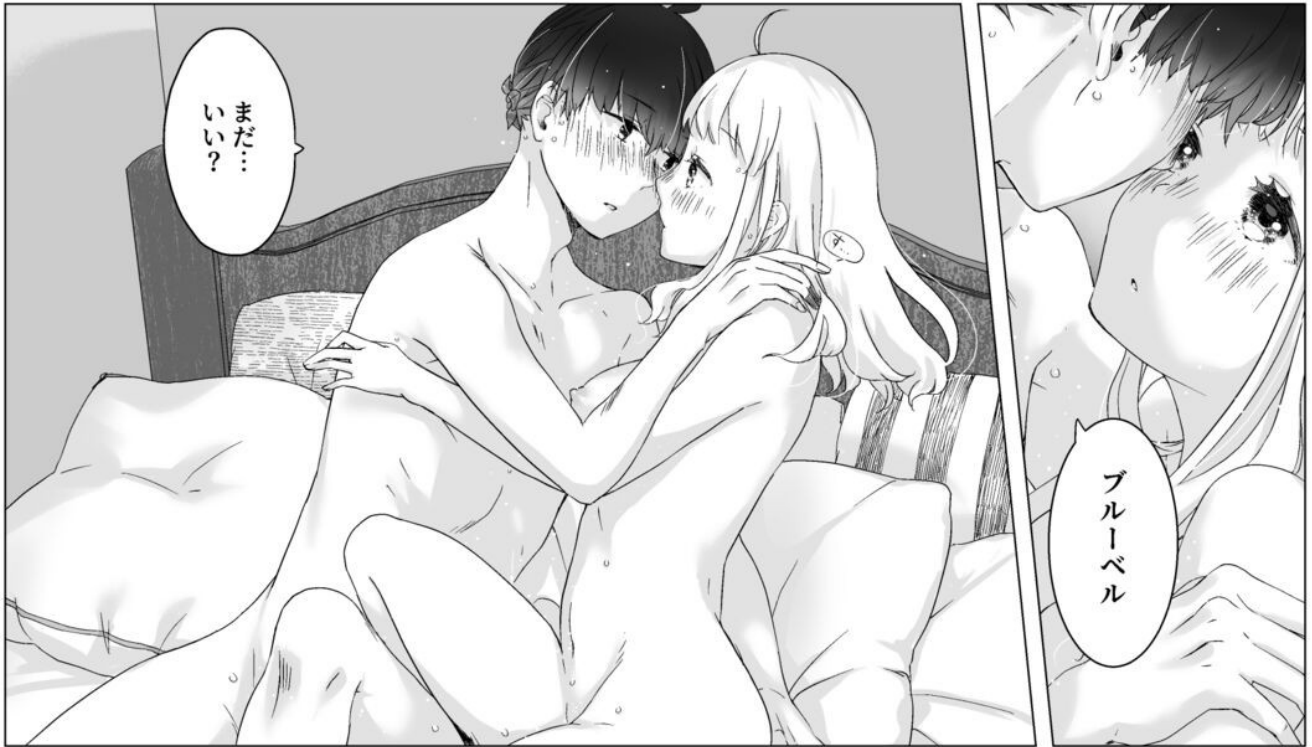


…でも

癖にしちゃ  
いけない気が  
するけど…

…一晩で  
何回もするの

……



まだ…  
いい？

ブルーベル



して？

エドワードの  
好きなだけ

んー♡  
うん



今だけは

目一杯  
ブルーベルと

一緒に



この夜が  
ずっと  
終わらなければ  
いいのに



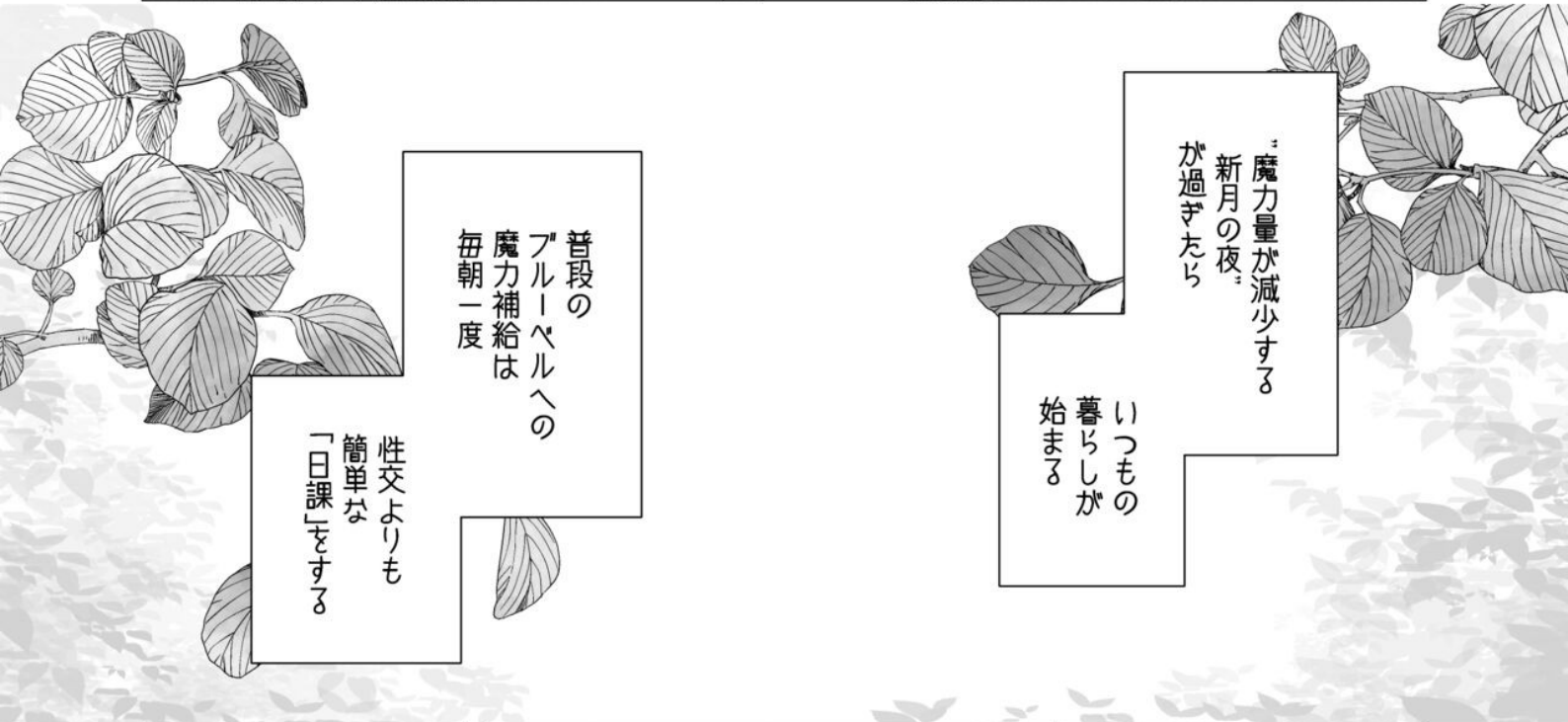
……ん……





次にこの部屋で眠るのは

また  
一カ月後の  
新月の夜に



魔力量が減少する  
新月の夜  
が過ぎたら

いつもの  
暮らしが  
始まる

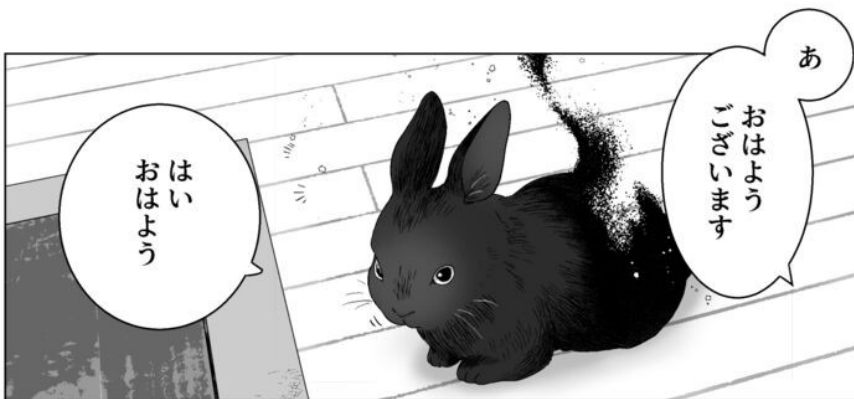
普段の  
ブルーベルへの  
魔力補給は  
毎朝一度

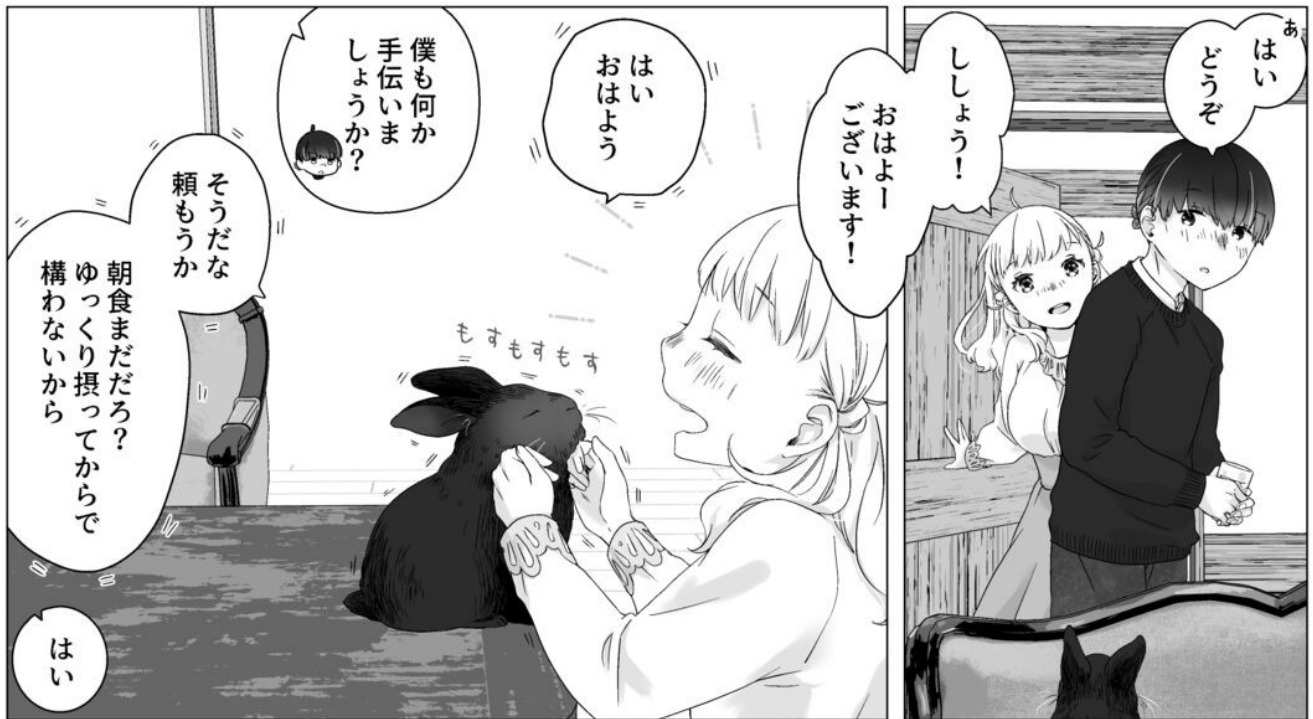
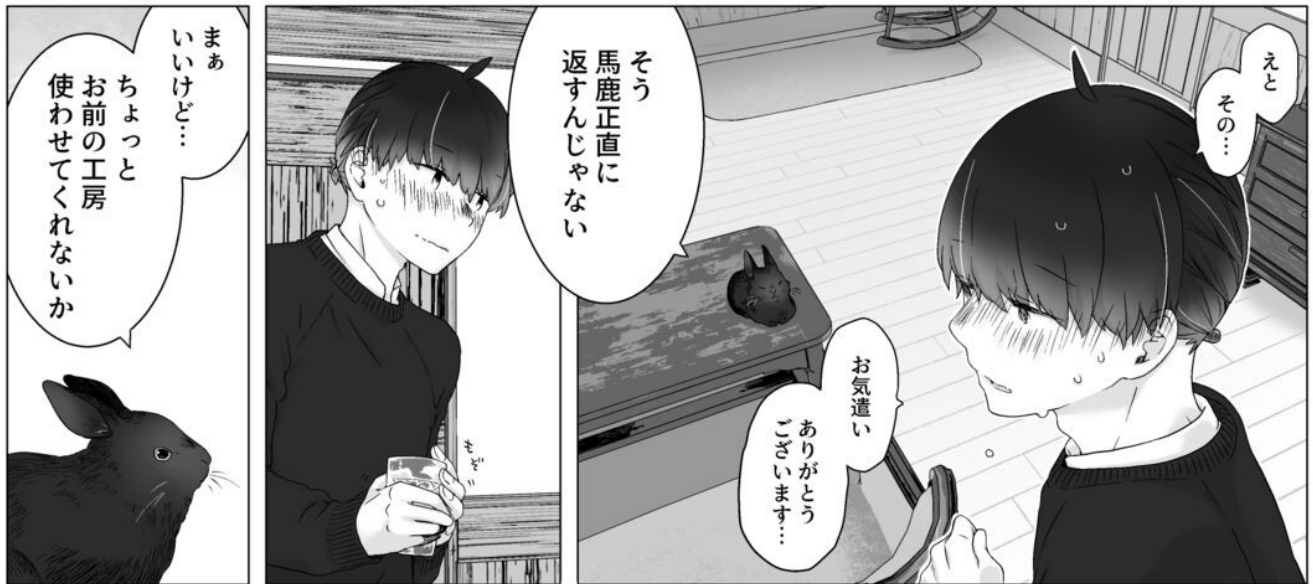
性交よりも  
簡単な  
「日課」をする

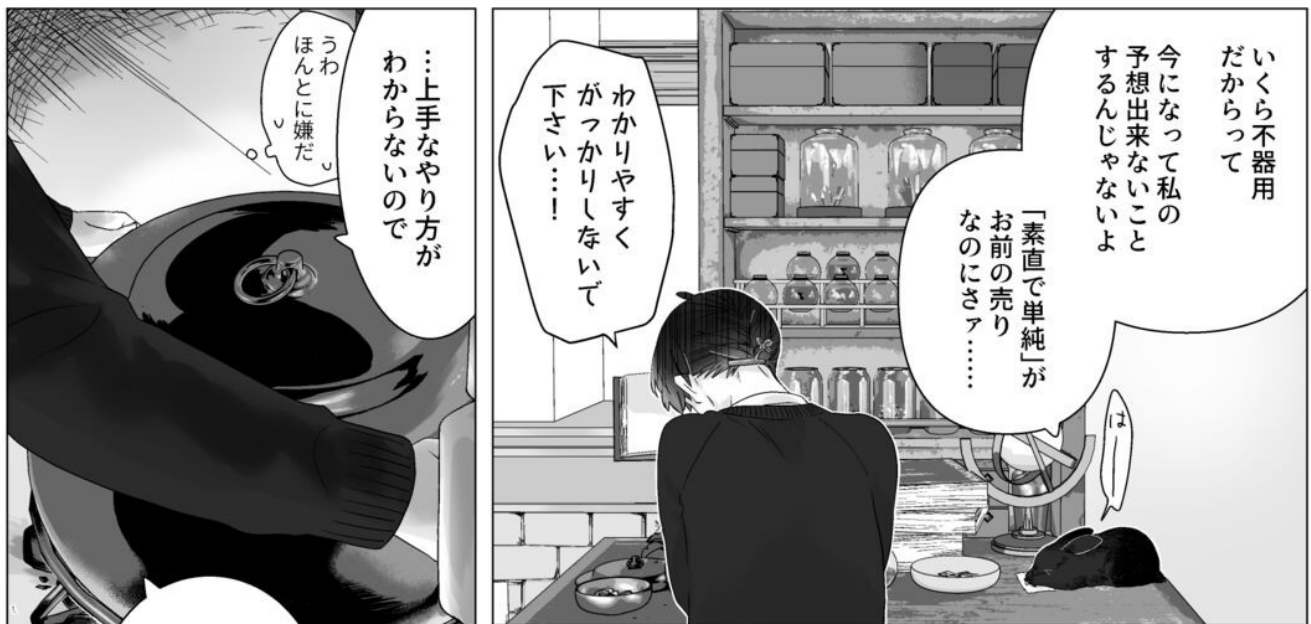


もう  
いい加減  
唾液經由にも  
慣れたい...



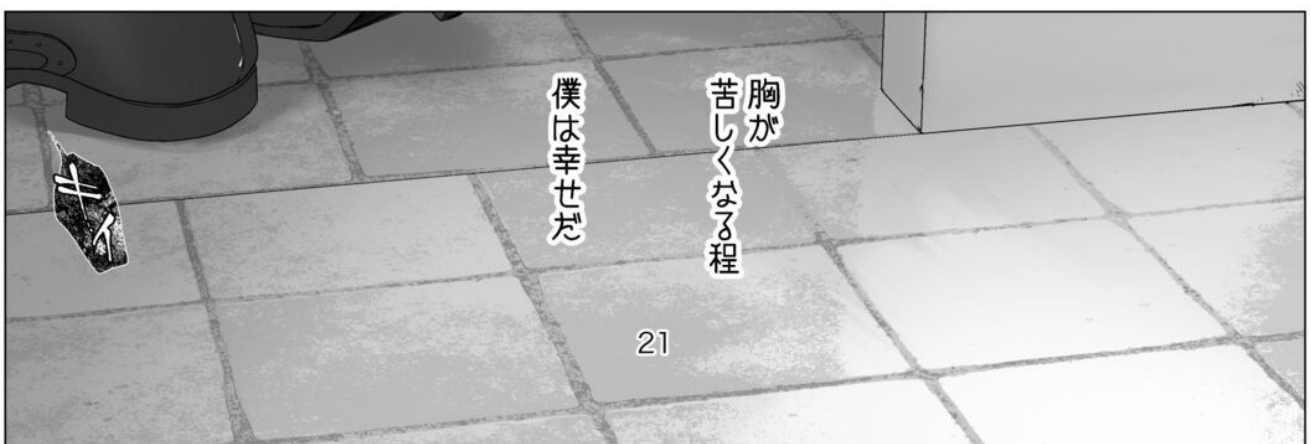














数日後







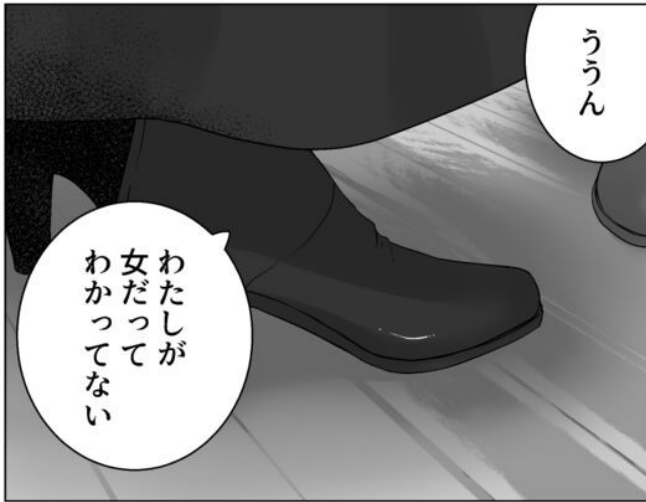
ここで  
離れて  
おかないと

いや  
だめだよ



わたしのこと  
子供みたいだって  
思ってる？



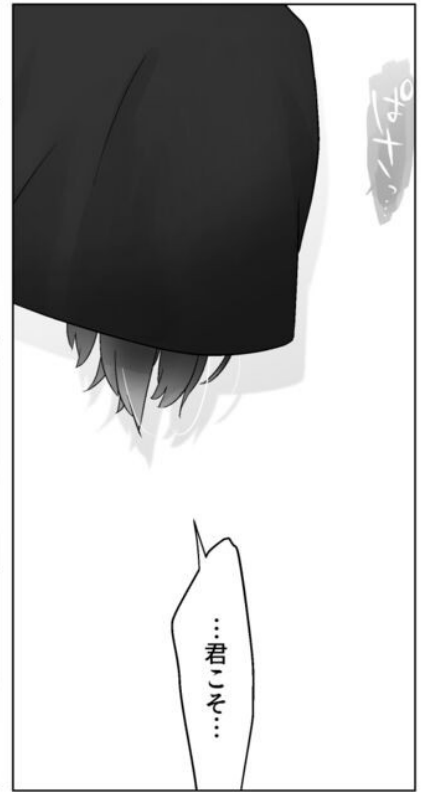






僕が  
男だってこと  
分かってない

そんなこと言われて  
我慢できるわけが  
ないんだよ



…君こそ…

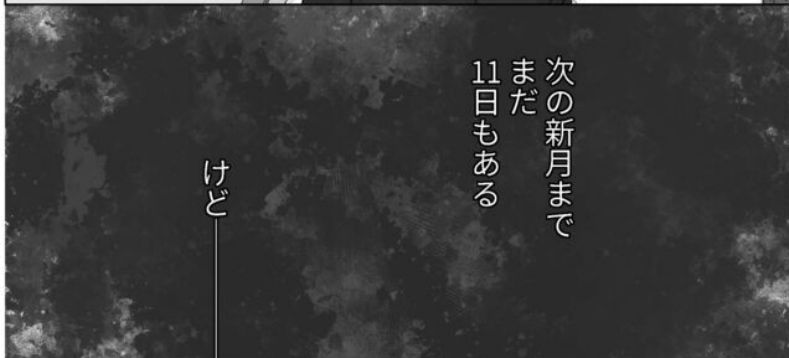
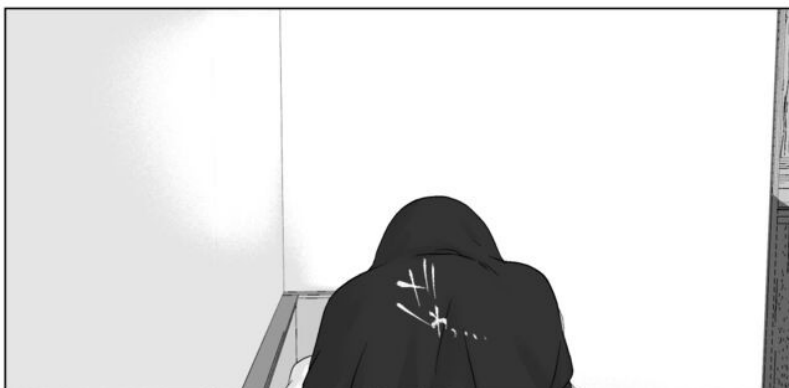


毎日

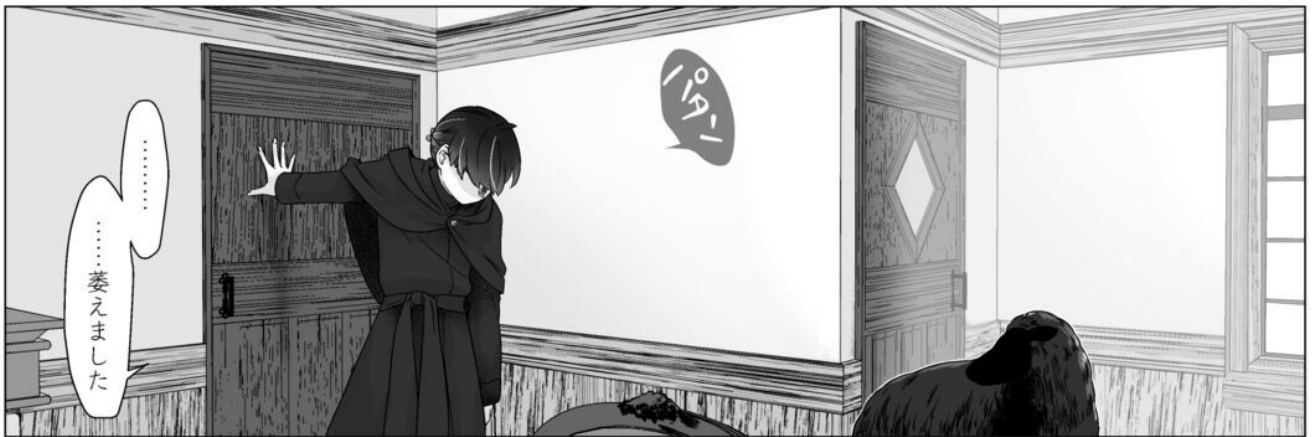
毎日

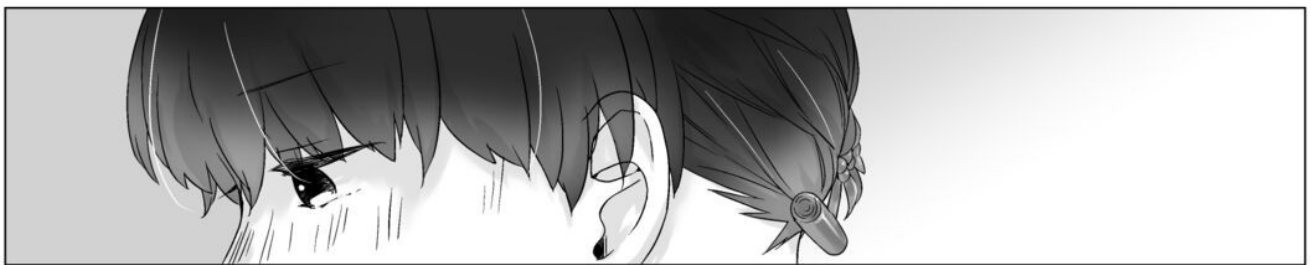
一緒にいて  
どれだけ僕が  
耐えてたか

新月の夜が  
どれほど  
待ち遠しいか









きっと  
ブルーベルには





「仕事が忙しい」

っつゝ

ちよつと距離置いてたの

多分ばれてたんだ

…実際  
ちよつと  
忙しかったん  
だけど

でも

そのせいに  
して

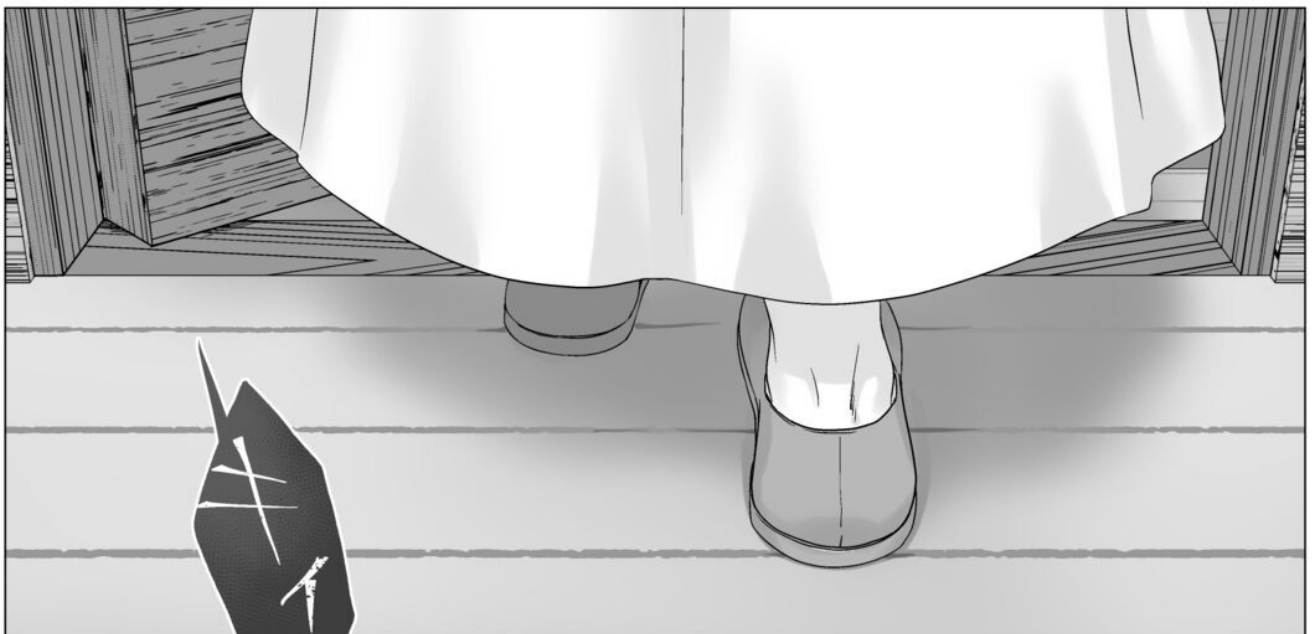


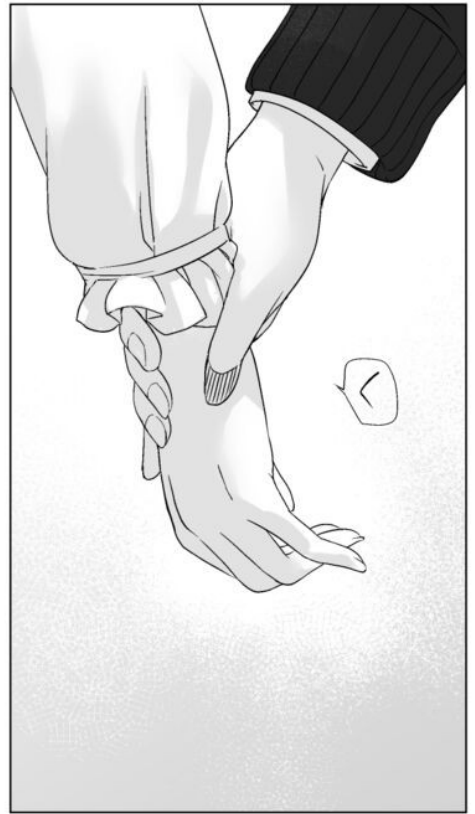
今の僕にとっては  
ブルーベルが  
何よりも大事で

——大事だから



エドワード





昼間の  
こと  
…怒ってる？

もし今  
師匠が  
現れたとしても

けど  
もう  
…いいや

…ああ  
部屋の  
隠蔽魔法  
忘れてる





…正直に言うとな  
自信がないんだ

知ってると思うけど  
ブルーベルは  
僕の初めてのの

恋びと  
だか



…今まで

女の子から  
こんな風に  
好かれたことが  
なかったから

どうしていいのかわからなくて

ごめん

ん……

うん



あなたに

わたしの  
こと

好きでいてほしい



エドワードが  
いっぱい嬉しい  
気遣ってくれてるの

ちやんと  
わかるよ

そういう  
優しいとこ  
大好き

でもね

それが遠慮だったら  
ひとつも  
しなくていいの



いま  
——  
腑に落ちた

ブルーベルは

僕と  
性交しない事が  
寂しいんじゃない  
なくて

僕が  
求めない事を  
不安がって  
たんだ



…それなら  
大丈夫

君のこと

今までも  
これからも

誰よりも  
好きでいる

……  
ブルーベル

口くち

ちよっとだけ  
力抜いてて





——まったく  
全然上手くなんか  
できてない

けど

もっ  
頭の中が

体中の血液が

どうにもならない位  
沸騰しそうまで

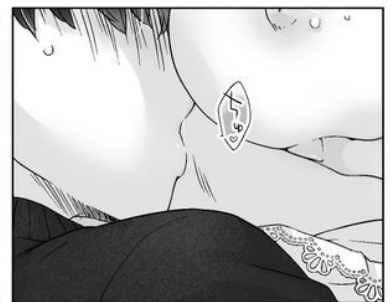


…今のは

魔力補給の  
ためじゃないよ





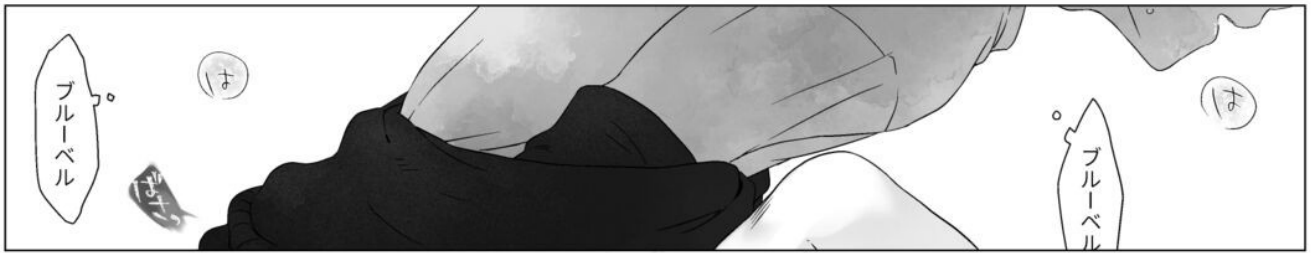




何か  
変だ

興奮して  
速いのが

いつもと  
違う



ブルーベル

ブルーベル

我慢



が…



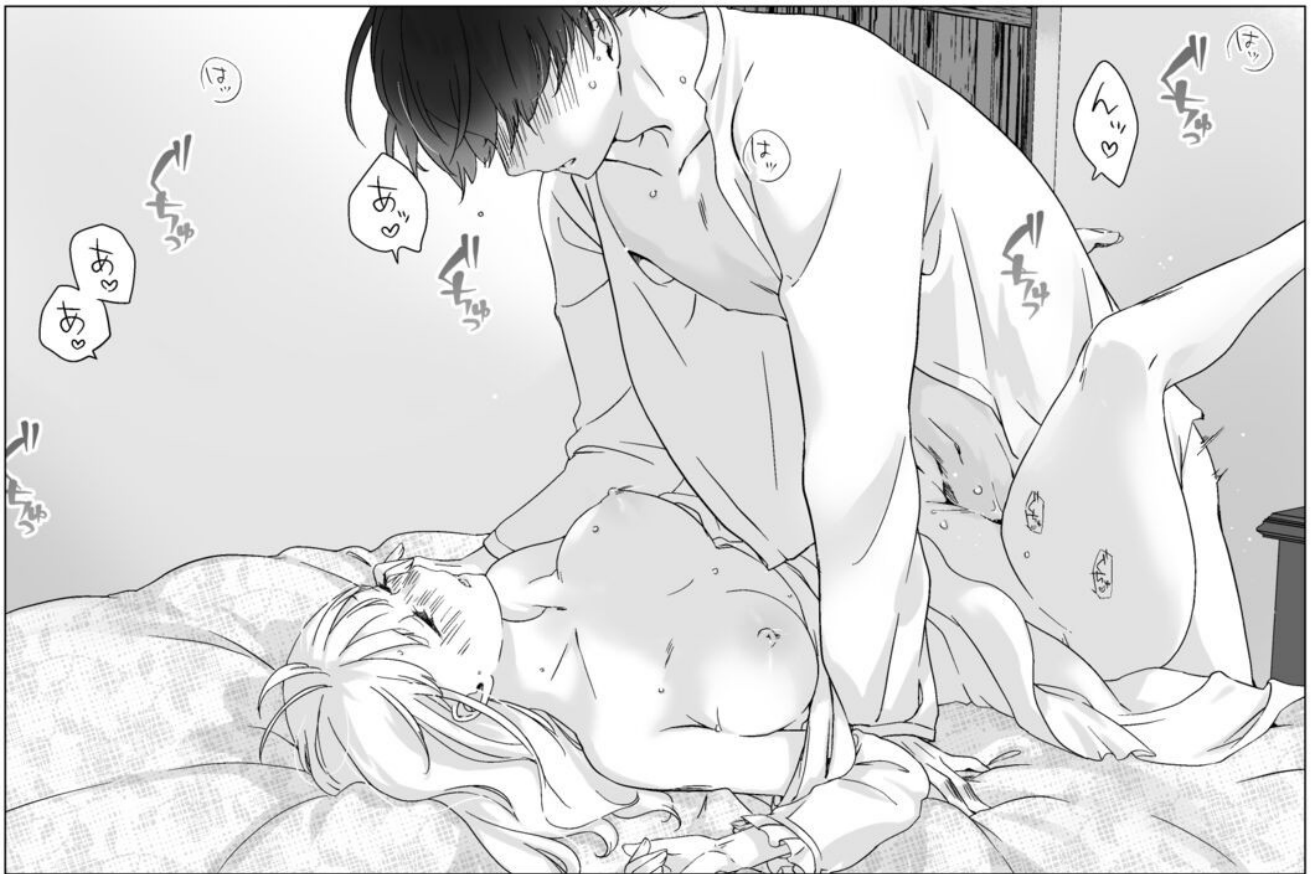
さっさと

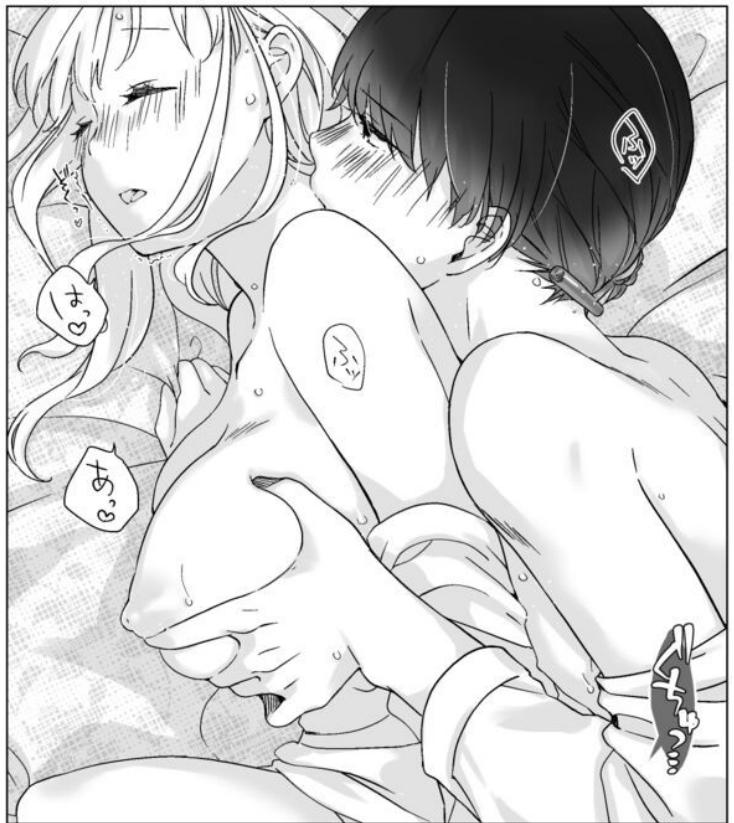
このまま

は











全部、僕だ



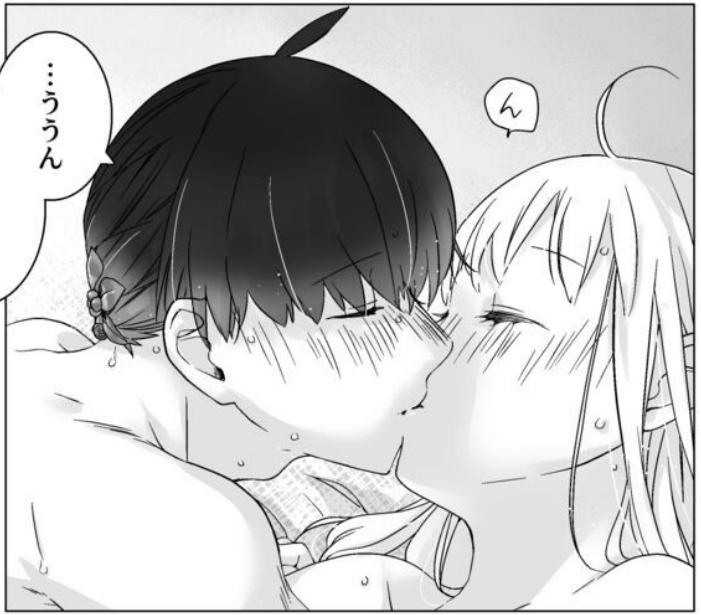






いつもどおり  
するよ

…うん  
次は



ん

きつと

その時には  
本当に

魔法補給の  
必要が  
全く  
なくなったら

いつか

今夜は  
君の望むとおりに



ブルーベル  
どうして  
欲しいとか  
ある？

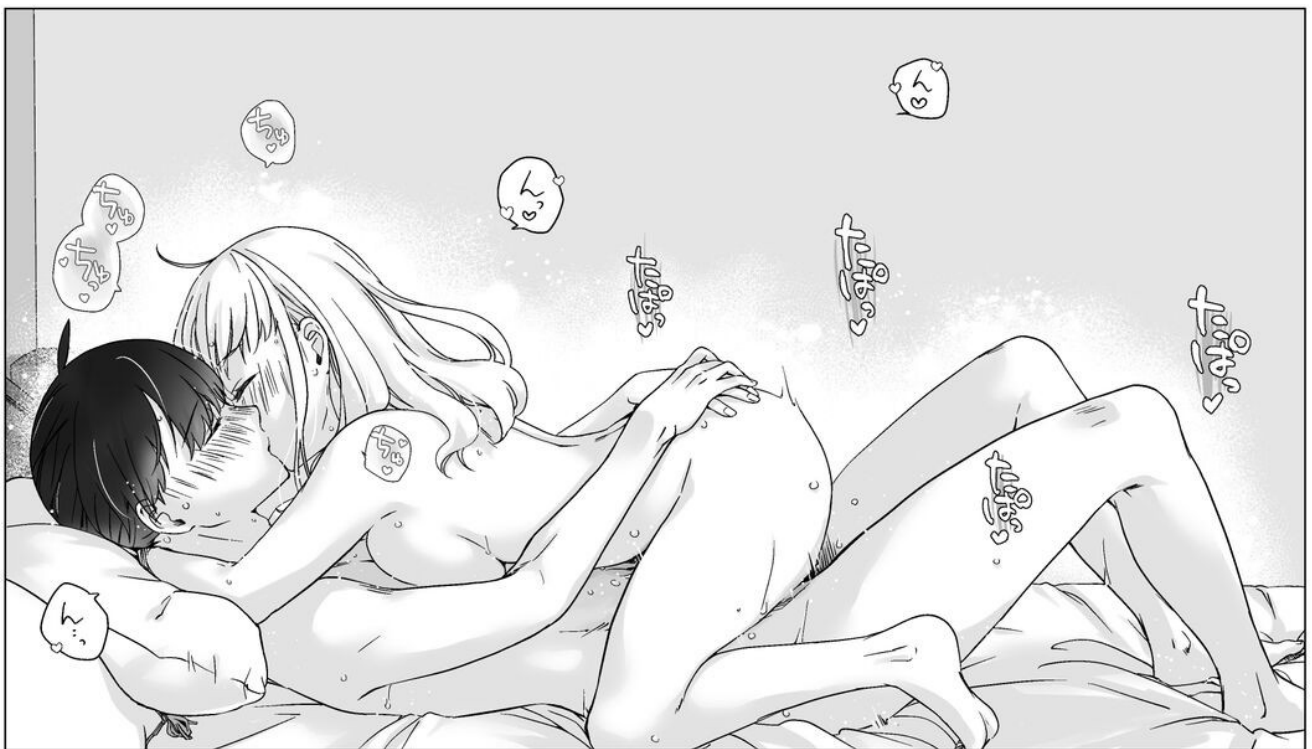
んー？

んー……



いっぱい  
いっぱい

エドワードと  
ぎゅーって  
してたいの



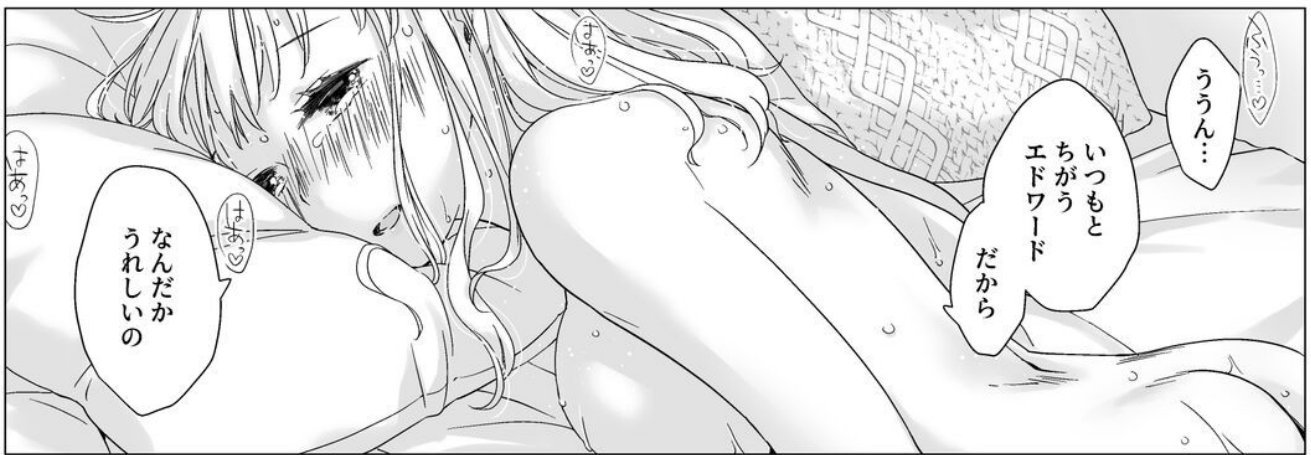






ごめん  
嫌だった？

…！



ううん…  
いつもと  
ちがう  
エドワード  
だから

なんだか  
うれしいの



…ブルーベルが

気持ち  
良さそうに  
してくれてるのを  
もっと  
見たくて…

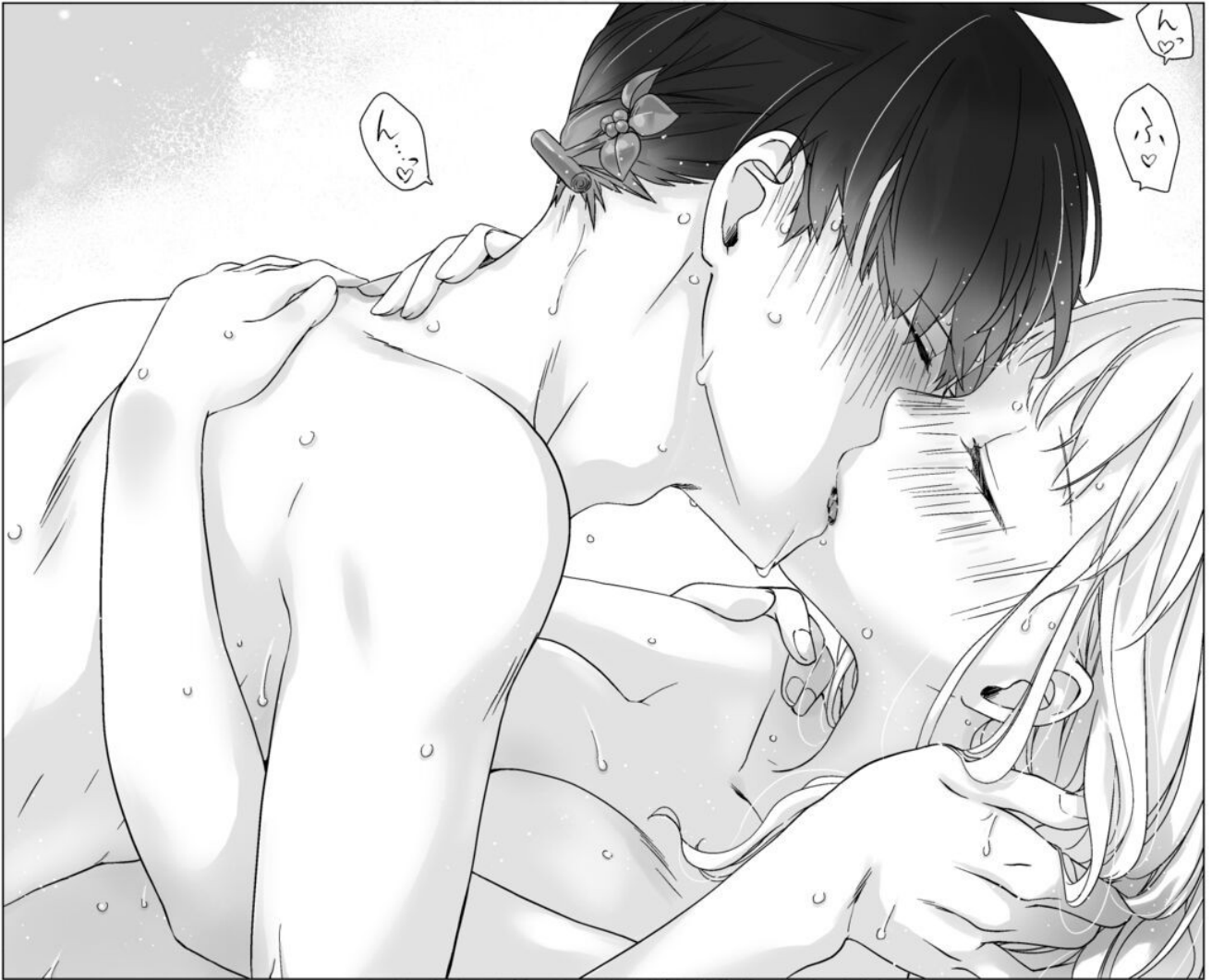


ね  
エドワード…

さっきの  
キス

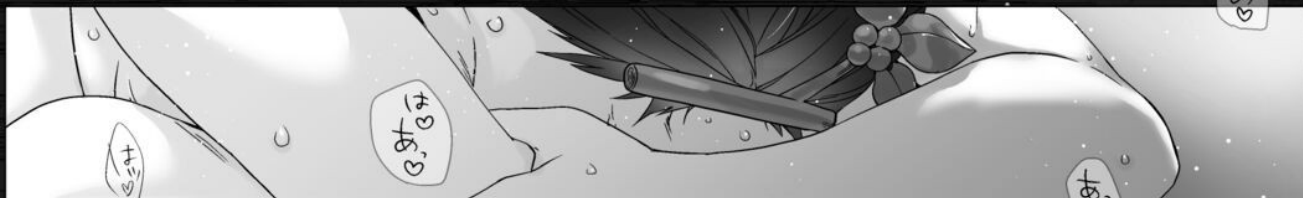
ちようだい

君が  
望むことは  
僕が  
叶えるから



その代わり

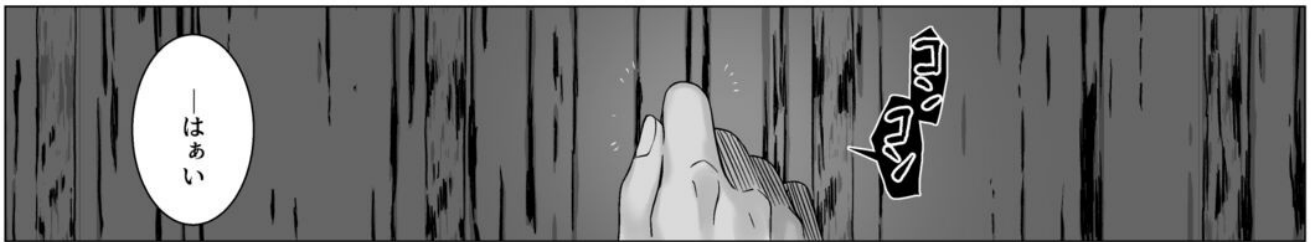




月の在る夜

それは  
ただの男ほくと女きみの時間だ



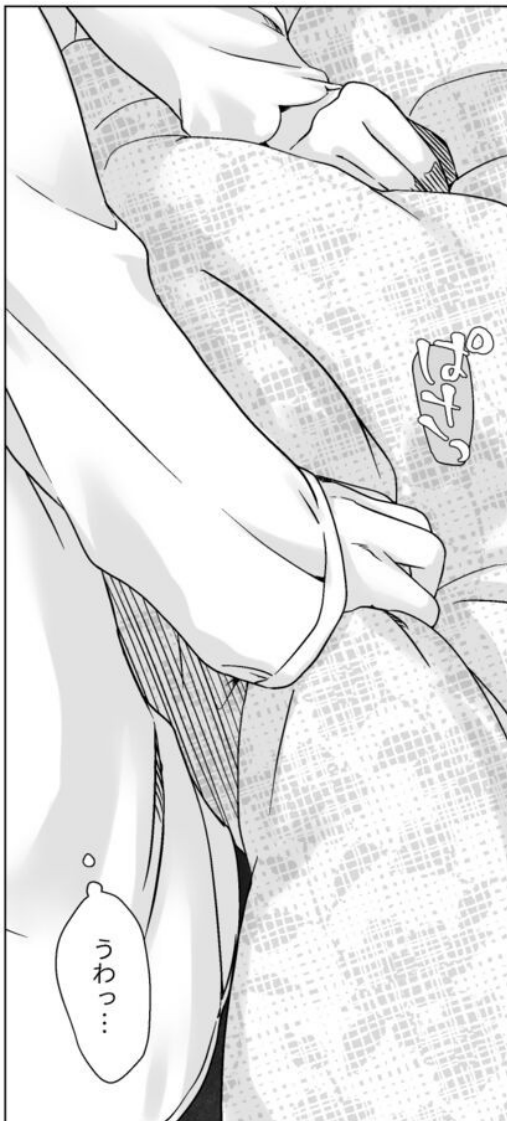


あ  
うん

そのつもり  
なんだけど…



だいじょうぶ  
起きてたよ





エルウッド  
"Elwood"





「魔法使いと  
しての名前」  
っていうのかな



…僕の

本当の名前



「Edward」  
っていうのは  
人間の社会で  
暮らすための  
僕の仮の名前なんだ

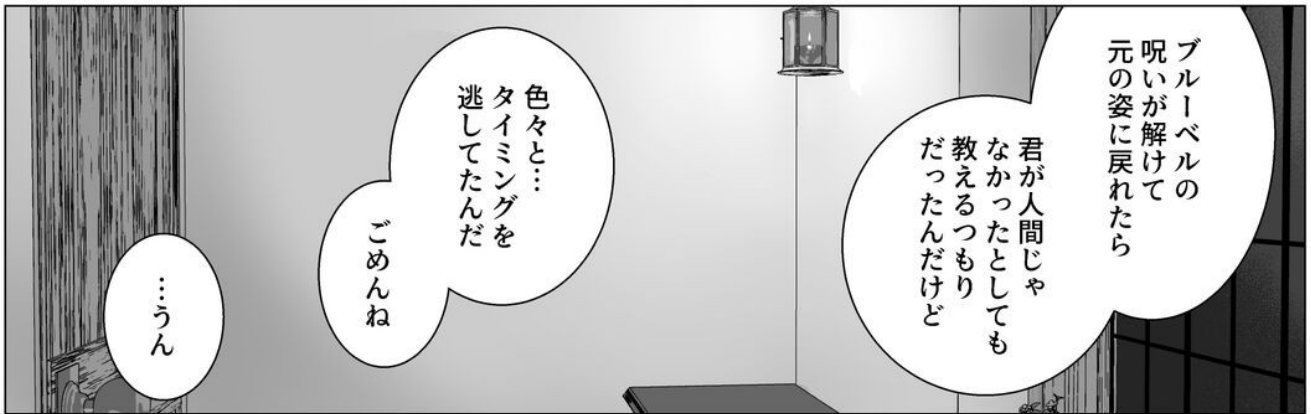
魔法使いの本名は  
原則的に外部には  
隠すものになってて

知ってるのは  
血縁や  
同属の魔法使い

あと



自分よりも  
「大事な相手」には  
教えてもいいことにな  
ってる



ブルーベルの  
呪いが解けて  
元の姿に戻れたら

君が人間じゃ  
なかったとしても  
教えるつもり  
だったんだけど

色々：  
タイミングを  
逃してたんだ

ごめんね

…うん



僕が<sup>エルウッド</sup>の木  
だから

同じ植物の名前で  
お揃いにしたくて

君を見つけた  
場所に咲いてた  
青い花の名をつけた

君の呼び名を  
ブルーベルに  
したのは

子供の

幼稚で単純な  
発想だけど



ああ  
でも

他の人に知られちゃ  
いけないから  
これからも  
エドワードって  
呼んでもらうこと  
になるけど

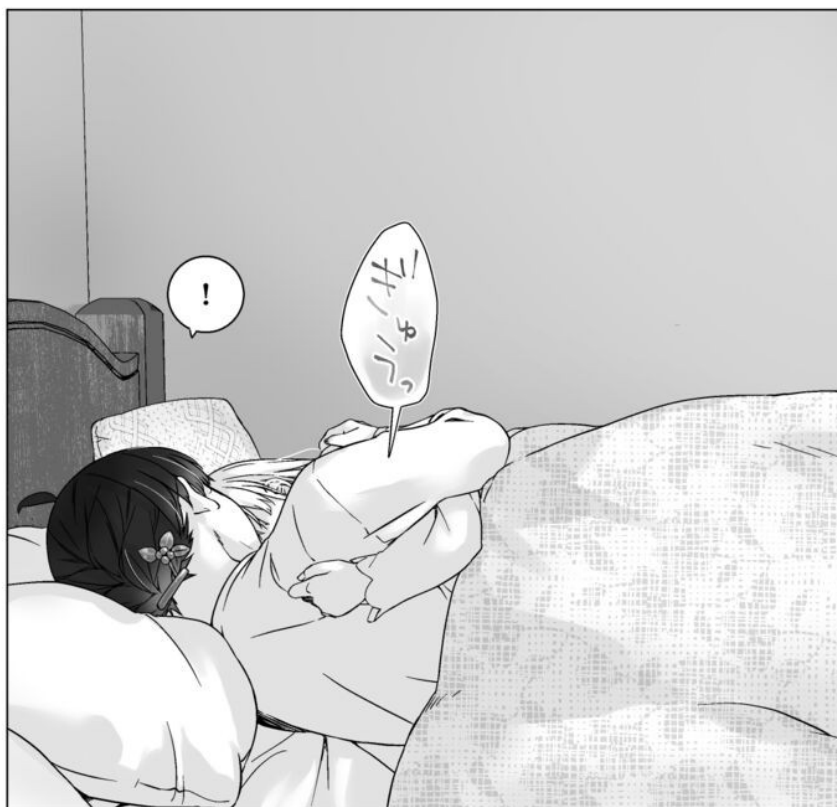
でも

僕の  
この名前を  
君に覚えていて  
欲しいんだ



—  
うん

絶対に  
わすれない

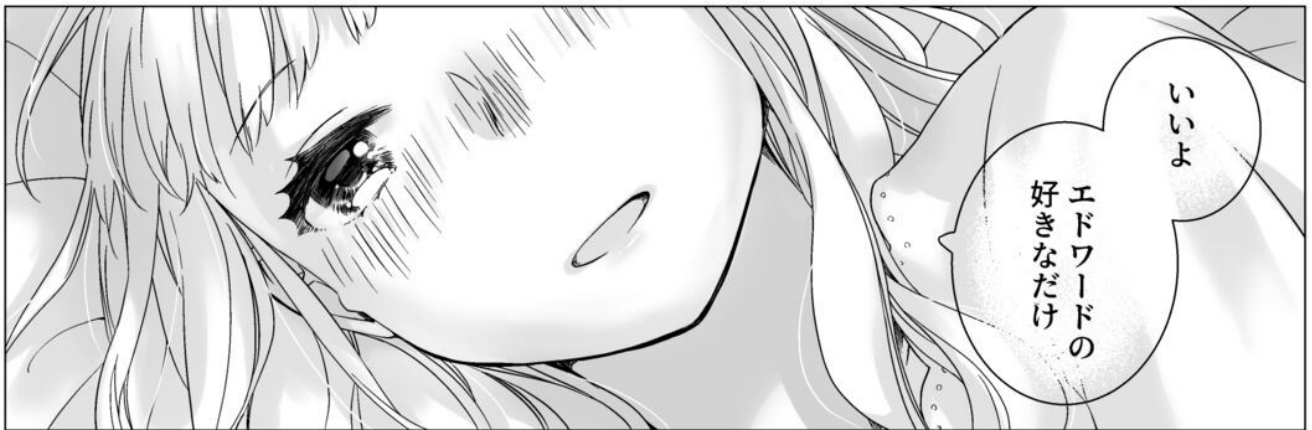
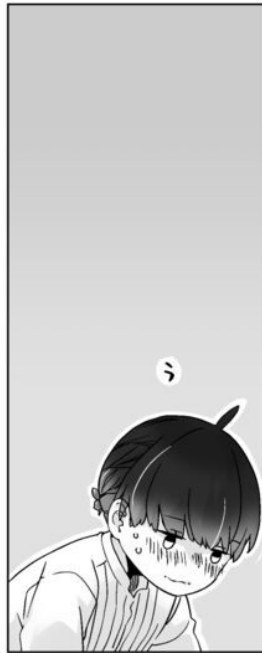
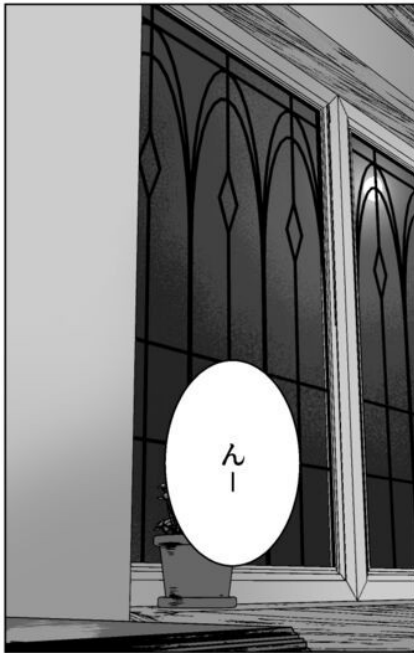


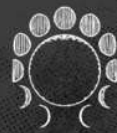
!



…ありがとう








見習い魔法使い君

The Apprentice Wizard の is on the moonlit night.

月の夜



おまけ

Moreover

・見習い魔法使い君と初めての恋人

前作『見習い魔法使い君と花の名前』の本編直後くらいのお話

・本日の師匠は子猫

ちょっとした日常小ネタ

・見習い魔法使い君とその師匠

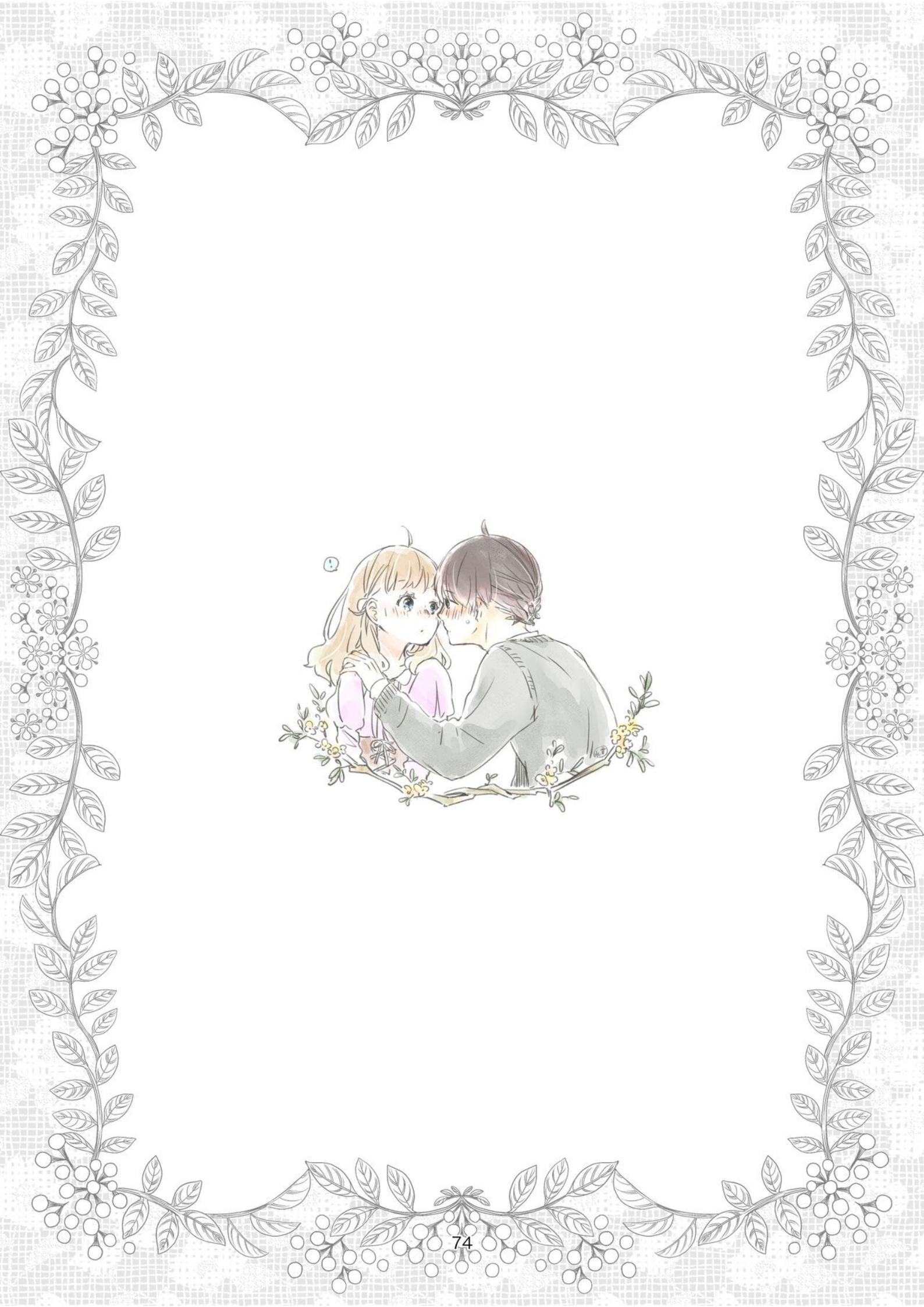
今作『見習い魔法使い君の月の夜』の本編直後くらいのお話

おまけ 「見習い魔法使い君と初めての恋人」









おまけ小ネタ 「本日の師匠は子猫」





『見習い魔法使い君と花の名前』予告イラスト





それは…



ブルベ<sup>あ</sup>の子  
長期的に安定した  
魔力供給が出来る  
可能性がある



これは  
仮説  
だけれど

胎内にお前の子を  
宿すことで



ただし

わからないこと  
ですけど…

…いえ  
やってみないと



けどまあ



つまりは

お前の今後の  
魔法使いとしての  
立場を  
考える必要がある

お前自身の  
魔法系統の  
純血を遺せない

魔法使いが  
人間の娘との  
子をもつ  
ということは





はい



お前の中で  
結論は  
出ているんだろ

どうせ

これまでと  
同じ

ブルーベルが  
居てくれるなら

僕は



ブルーベルの魔力は  
人間には充分な量で  
安定しているし  
もう消滅したりは  
しないと思うけれど

お前は  
まだ不安  
なのかい？

魔力量は：  
そうなんですけど  
月に数日間  
ブルーベルは必ず  
具合が悪くなるんです  
だから…



というか。  
そもそもだ



…ああ…

(察し)



心配で

って言うんですけど

へいきだよー

彼女は

…はい



…

月に数日間？



誰にも相手にももらえなかったんですから!!

本気で謝らないで下さい!!

そんなの無理だったんです僕には!

そ!

ごめんよ

本当にお前には10代の頃に女を覚えさせておくべきだった…



ブルーベルの不調の理由は本でも読んで自分で調べなさい

本で…?

載ってるから

医学書めだりに



ブルーベルの世話を最優先にすぎたんだよ

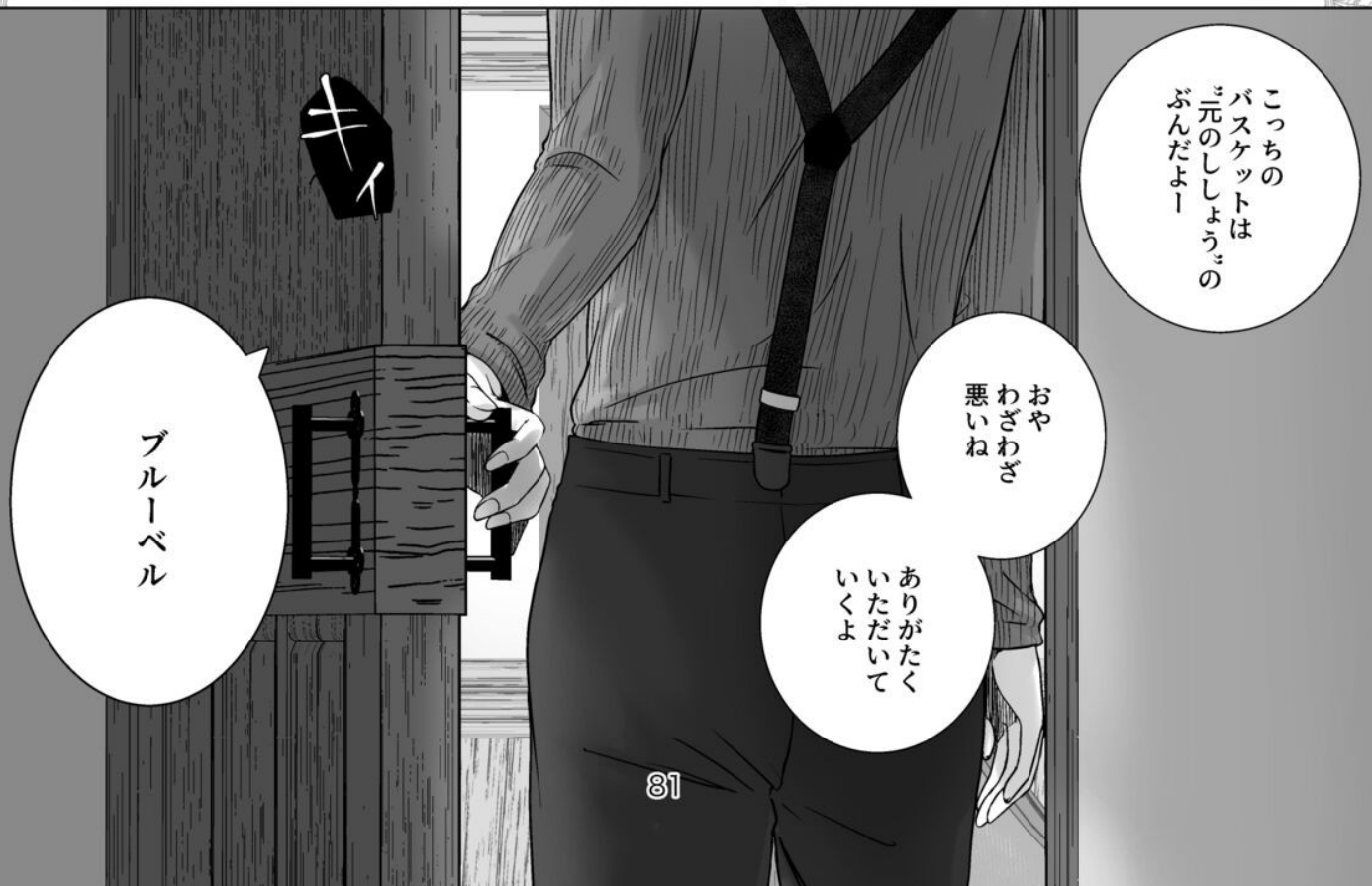
そうしたことだって後悔してないくせに



…そうですけど!



…ブルーベルと 僕の





食事が  
済んだあと  
少し――



僕達の  
未来のことさ

話さう



END

蛇足的なあとがき

Extra Afterword



できたひとたち  
Character and Supplement  
と、設定の補足

エドワード

見習いの魔法使い。

本名の“エルウッド”は  
エルダー(セイヨウニワトコ)  
から付けられている。

←初期の案出しラフより

エドワードの髪飾りは  
エルダーの木がモチーフに  
なっている。

この世界では、  
魔法使いは人里離れた場所に  
集落を作って生活しているが、  
エドワードは魔力などの性質が  
特殊な事もあり、  
魔法使いの集落からは離れて  
人間の生活圏に近い場所で  
暮らしている。

そのため、  
偽名である“エドワード”のほうを  
主な名前として使用している。



本物じゃなく  
金細工みたいな



挿にあるけど  
基本不思議なかた  
固定してる感



## 師匠

今回はちょっと  
出番が少なめ。

※今作の「けち」発言の補足  
情事を勝手に覗きはしないけど、  
偶然現場に遭遇した場合は  
弟子のセックスは  
どんなもんなのか  
見てやろう的スタンス。

やはり偏屈。



## ブルーベル

現在は普通の人間の状態に  
戻っている。

魔物に呪われる前の記憶は  
あまり残っていないが、  
幼少期に家の手伝いを  
していたようで、それが  
肌感覚的に残っていた。  
一通りの家事ができるよう  
になろうと頑張っている。

前作でエドワードが魔法で  
着せてくれた服を  
再現しようと奮闘中。



サキュバス  
姐さん

## サキュバスさん

今作中では  
実際に存在するサキュバスを  
師匠が召喚したわけではなく、  
サキュバス(概念)を具現化したもの。

概念ではあるが、  
普通に性的に襲ってくる。



描いた人のごあいさつ

はじめましてのかた、あるいはいつもお世話になっておりますのかた、  
こんにちは。青色観測所です。

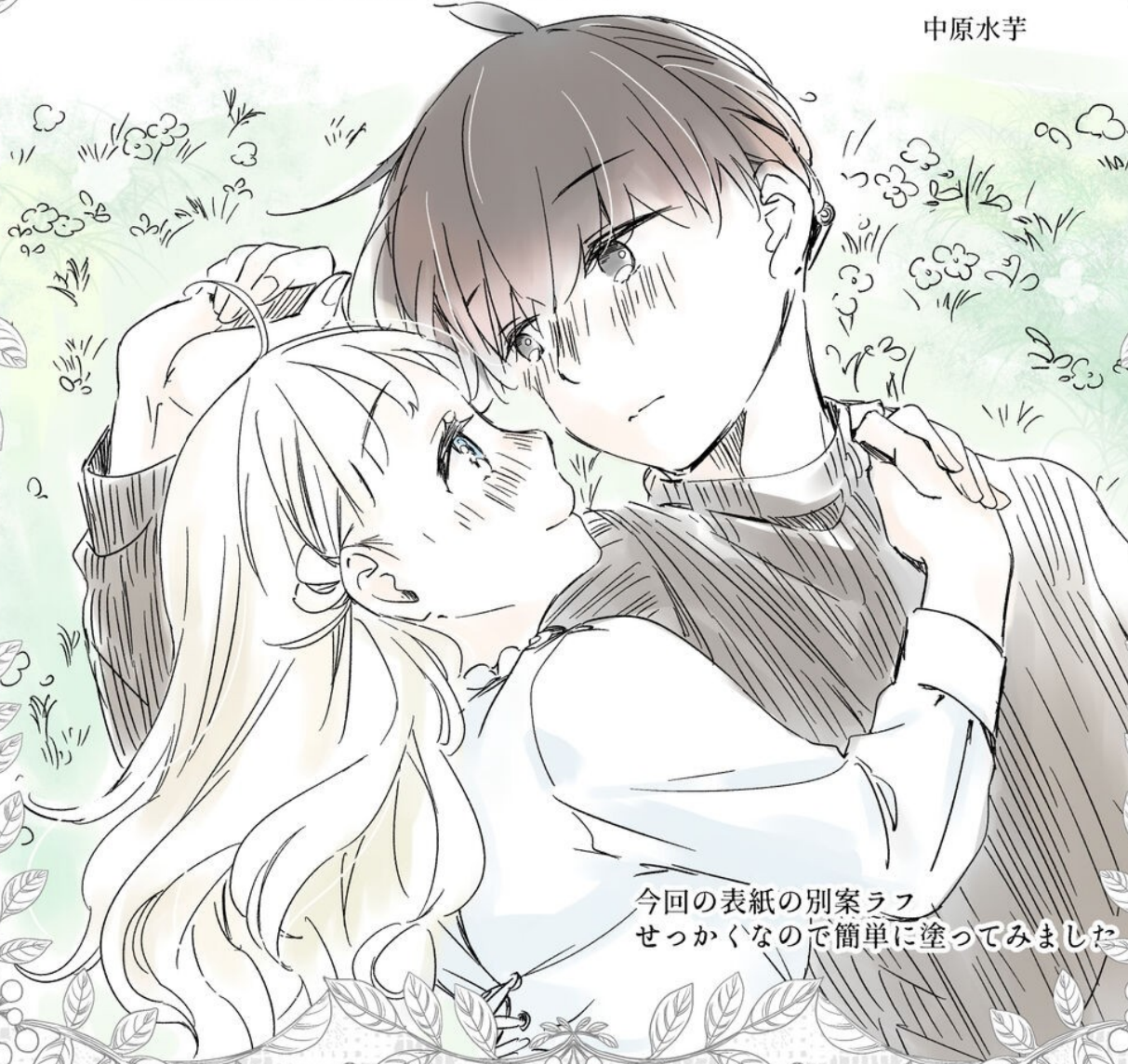
「見習い魔法使い君の月の夜」をお読みいただきありがとうございます。

前作から一年以上かかってしまいました、  
ようやく皆様にお話をお届けできました。  
ずっと待っていて下さったかた、本当にありがとうございます。

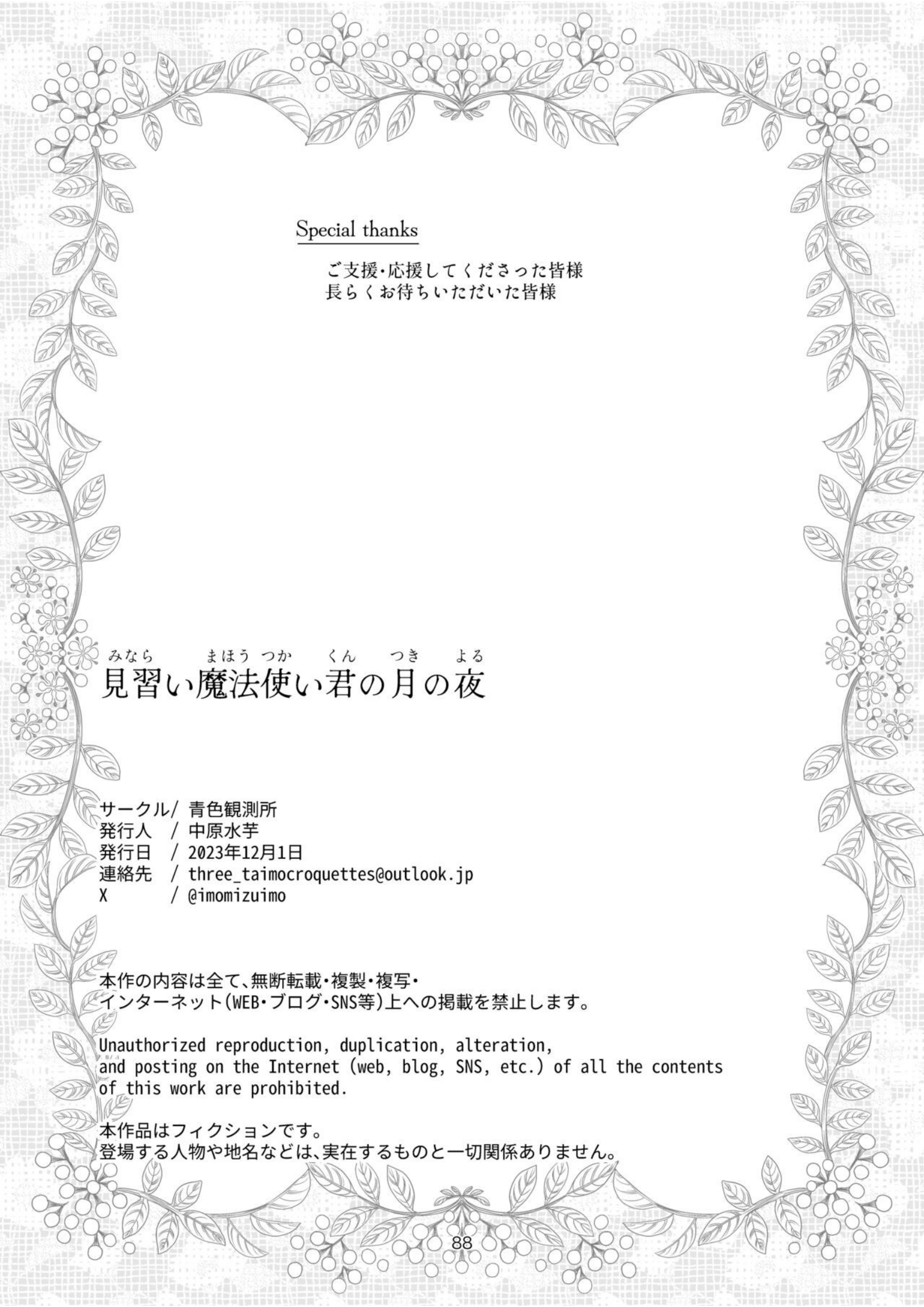
エドワードとブルーベルの新しいお話、  
楽しんでいただけたなら幸いです。

作者の個人的な事では、2023年は初の商業漫画のお仕事をいただいたり、  
まさかの単行本を出していただいたりしていました。  
よければこちらもよろしくお願ひします。

中原水芋



今回の表紙の別案ラフ  
せっかくなので簡単に塗ってみました



Special thanks

ご支援・応援してくださった皆様  
長らくお待ちいただいた皆様

みなら まほう つか くん つき よる  
見習い魔法使い君の月の夜

サークル/ 青色観測所  
発行人 / 中原水芋  
発行日 / 2023年12月1日  
連絡先 / three\_taimicroquettes@outlook.jp  
X / @imomizuimo

本作の内容は全て、無断転載・複製・複写・  
インターネット(WEB・ブログ・SNS等)上への掲載を禁止します。

Unauthorized reproduction, duplication, alteration,  
and posting on the Internet (web, blog, SNS, etc.) of all the contents  
of this work are prohibited.

本作品はフィクションです。  
登場する人物や地名などは、実在するものと一切関係ありません。



